



江東区

高潮

東京湾に高潮が発生したときの
災害避難地図(想定し得る最大規模)
ハザードマップ

浸水の深さ

避難に関する情報

江東区は、伊勢湾台風級の高潮でも耐えられるように、堤防と水門を整備しています。しかしながら、想定し得る最大規模の高潮が発生した場合には、江東区内でも浸水することが想定されています。

緊急安全確保

災害が発生又は切迫している状況です。
命を守るための最善の行動をとります。

警戒レベル
5

〈警戒レベル4までに必ず避難!〉

避難指示

速やかに避難先へ避難しましょう。
避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル
4

高齢者等避難

避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。
その他の人は、避難の準備を整えましょう。

警戒レベル
3

大雨・洪水・高潮注意報

避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル
2

早期注意情報

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル
1

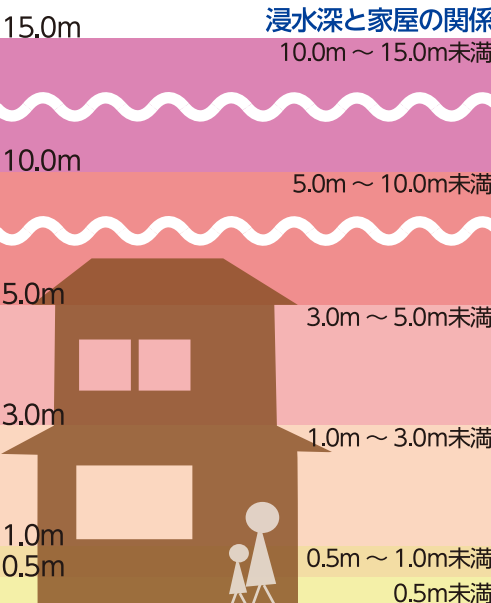
※「警戒レベル5相当、警戒レベル4相当、警戒レベル3相当」など、この「相当」が付く情報は江東区が発信したものではなく、潮位や警報の情報をもとに国・マスコミなどが発信しているものです。「警戒レベル〇相当」という表現があっても、区から必ず避難指示などを発表するわけではありません。
雨や潮位の情報を総合的に判断し、発信します。

※詳細は、江東区洪水高潮ブックレットのP.11-12をご覧ください。



江東区の防災情報

浸水した場合に 想定される水深



凡例 (高潮)

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主な公共施設



東京都高潮防災
総合情報システム

避難先

- 自主避難施設
- 拠点避難所
- ・地盤が高い
- ・浸水しない区域
- ・公園・広場がある

水害時、特に危険となる箇所



アンダーパス

アンダーパスとは
周辺より低く水が溜まりやすい
ため注意が必要な箇所

自主避難施設とは

台風などの水害時に住宅の浸水が懸念される場合、自主的な避難を希望する区民を受け入れる施設のこと。文化センター・スポーツセンター等が対象。

拠点避難所とは

地震や水害などの災害により、自宅で生活ができなくなった地域住民の生活の場として、区が開設する避難者受入施設のこと。区立小・中学校が対象。

命を守るために
早めの避難を検討!

台風など強い低気圧が襲来すると波や海面が上昇し、高潮が発生します。あらかじめ浸水しない地域の親戚、知人宅などへの避難を検討しましょう。

命を守る
緊急手段
垂直避難

ご自身の建物・最寄りの避難先
(マップに●▲マークがついている施設)の
想定される水深より高い場所に避難

保存版

おおよその距離と 時間を測ってみよう

1000m

1000m歩くのに、
15分が目安です。

1000m歩くのに必要な時間は、おおよそ15分が目安です。ただし、波の発生や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。おおよその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。



江東区観光キャラクター
「コトミちゃん」

東京都 高潮浸水想定区域図 [想定最大規模] (浸水深)

作成主体 : 東京都(港湾局、建設局)
作成年月日: 令和6年12月

対象とした台風規模
中心気圧: 910hPa(室戸台風級)
移動速度: 73km/h(伊勢湾台風級)

江東区では、現在洪水、内水、高潮の3種のハザードマップと、水害時の避難に関する情報や、江東区の治水対策の歴史や洪水氾濫、高潮氾濫のメカニズムなどを掲載している「江東区洪水高潮ブックレット」を公開しています。
また、これらハザードマップの情報を音声版として「江東区音声版水害ハザードマップ」に収録しています。合わせてご覧ください。



水害ハザードマップ
(洪水、内水、高潮)
・洪水高潮ブックレット



江東区音声版
水害ハザードマップ

1 : 25,000

0 0.25 0.5 1 1.5 2 km



江東区

高潮

ハザードマップ

浸水の時間

高潮氾濫による浸水、排水の想定条件

■東京湾沿岸において、想定し得る最大規模の台風に伴う高潮氾濫により、波が海岸や河川の堤防を越えた場合や、堤防が壊れた場合を想定しています。

■高潮氾濫で市街地などに溜まった水は、自然排水や排水施設（排水機場・ポンプ所など）により河川・運河へ排水することを想定しています。

■排水施設が浸水した場合や、備蓄している燃料が無くなった場合は、排水が出来なくなることを想定しています。

■詳細は、東京都の高潮浸水想定区域図のホームページをご確認ください。



保存版

浸水継続時間の凡例

- 1週間以上の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 12時間未満の区域

※色覚障害のある人へ配慮した配色としています。
※色合いを変えたものを江東区ホームページに掲載しています。

凡例（高潮）

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主な公共施設
- 避難先
 - 自主避難施設
 - 拠点避難所
- 水害時、特に危険となる箇所
 - アンダーパス

避難する時の留意点

- 情報収集しましょう
ラジオ、テレビ、インターネットで最新の情報に注意しましょう。
- 避難の呼びかけに注意を
落ち着いて避難しましょう
- 動きやすい格好がお勧めです
- 足元に注意！
浸水しているため足元の危険が分かりにくくなっています。足元を確認しながら避難しましょう。
- 万が一、逃げ遅れた場合には
ご自宅か、最寄りの公共施設において想定される水深より高い場所に避難しましょう。

- 自主避難施設とは
台風などの水害時に住宅の浸水が懸念される場合、自主的な避難を希望する区民を受け入れる施設のこと。文化センター・スポーツセンター等が対象。
- 拠点避難所とは
地震や水害などの災害により、自宅で生活ができなくなった地域住民の生活の場として、区が開設する避難者受入施設のこと。区立小・中学校が対象。

改定年月：令和7年3月 印刷物登録番号（6）68号

編集発行：江東区 土木部 河川公園課 TEL：03（3647）2538

江東区 総務部 危機管理室 防災課 TEL：03（3647）9587 ※令和7年4月より防災計画課